

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	今井 徹 先生（報道の達人）
実施校	豊川市立豊川小学校
実施日	平成21年1月17日（土曜日）
実施学級	5年1・2組（78人）
授業の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 担任による達人の紹介。NHK 報道部で現在活躍中であることを説明する。 2 児童が制作したミニニュース番組を発表する。（2グループ） 3 発表について、達人から感想や批評を聞く。 4 ニュースの番組づくりに関するコツを達人に学ぶ。 5 実際のニュース番組の制作では、どのような点に注意して取材や映像、原稿づくりが行われているのか話を聞く。 達人が持ってきたビデオカメラを使って、ニュース映像の撮り方のポイントを実際にビデオカメラを使い、映し出されたプロジェクターの映像を見ながら教えてもらう。（代表児童2名はビデオカメラを使った映像の撮り方のポイントを達人と一緒に体験する。） 6 放映時間1分くらいの映像にはどれくらいの取材時間が必要なのか等、達人に疑問な点を質問する。 
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース番組づくりで工夫されていることや注意したり気をつけたりしなくてはいけないことがよく分かった。 ・ ビデオカメラを使った映像の撮り方や“コツ”がとても分かりやすく体験をまじえて説明してもらったので、家に帰ったら自分でも撮ってみたいとなった。 ・ ビデオカメラを使った撮影技術の用語「パン」、「ズーム」、「ドリー」などの意味や実際の撮り方の違いなどがよく分かった。
教師の感想	<p>国語のニュース番組づくりの単元では、名古屋近辺の学校であれば放送局への見学が容易であると思われるが、地方の学校で放送局の仕事や番組制作について学ぼうとしたとき、写真やビデオを参考にしながらでしか学習できない。今回のように NHK の方を直接講師に招いて授業ができたことは、子どもたちにとってとても新鮮で心に残る内容だったと思う。</p> <p>また、今回の実施日は学校の公開日であり、保護者が多数参観をする中での授業だったので、大人（保護者）へのアピールも大きく、よりいっそう有意義な授業になったと思われる。</p>